

千葉市避難所への再生可能エネルギー等導入事業

地域レジ事業(5か年加速化対策)

災害時に効果が見込まれる事例

概要: 千葉県千葉市の避難所に、太陽光発電設備及び蓄電池を整備。地震等による停電に対して、蓄電池が稼働し、避難所運営機能に貢献。

- 実施主体: TNクロス株式会社
- 実施場所: 千葉県千葉市
- 事業概要: 千葉県千葉市の避難施設である幸町第二中学校に、太陽光発電設備及び蓄電池を整備
- 事業費: 34,193千円(幸町第二中学校)

主な事業	実施内容	事業費	実施期間
太陽光発電・蓄電池導入事業	設備導入	34,193千円	R5-R6
うち5か年加速化対策	設備導入	11,397千円	R5-R6

千葉市直下地震による想定、効果発現見込み

・災害外力想定: 市内の半分以上の範囲で最大震度6強の揺れが想定

・被害想定: 最悪想定では、死者数は人口914,722人の内1,130人が犠牲となる。また、避難者数は、1日後では304,210人で、その内182,530人が避難所避難者数となる。避難者数は1か月後においても、42,410人と想定される。

商用電力が停電した場合でも、蓄電池より電力供給を行い、避難所としての機能を確保

＜幸町第二中学校における太陽光発電設備＞



避難所として1,360名の避難者の収容が可能



太陽光発電設備135.66kW、蓄電池16.4kWhを導入

効果見込み

- 商用電力が停電した場合でも、防災無線やLED投光器が使用できるほか、スマホ充電が可能となる
- 災害対策本部との連絡調整に必要なパソコンへ電力供給により、被害や避難生活者の状況報告が可能となる

